

今あらためてオーバーヒートについて考える

山羽 徹

医療法人 山羽歯科医院



インプラント治療における外科的合併症の1つとして、ドリリング時の摩擦熱による骨のオーバーヒートがあげられます。オーバーヒートは術後の持続的な疼痛のみならず、オッセオインテグレーションの獲得を阻害する要因の一つとして古くから知られており、ドリルや骨への注水による冷却は必須のプロトコルとされてきました。しかし、一般的に使用されるインプラントの長さが徐々に短くなり、埋入窩が浅くなってきたことで、オーバーヒートを経験する術者は減少傾向ではないかと考えています。ところが近年普及してきた、フラップレス手術やガイドドサージェリーなどでは、注水による冷却効果が減じられてしまうことが問題視されています。そこで、本講演ではオーバーヒートのメカニズムについて文献的考察を加えながら、その予防策について検討してみたいと思います。

略 歴

1994年 大阪大学歯学部 卒業
 2000年 山羽歯科医院 開設
 2013年 医療法人 山羽歯科医院 設立
 2014年 大阪大学大学院 歯学研究科博士課程修了

現在の役職及び所属学会 等

- ・日本口腔インプラント学会 専門医
- ・日本歯周病学会
- ・日本臨床歯周病学会
- ・日本デジタル歯科学会
- ・大阪大学歯学部附属病院咀嚼補綴科
- ・OJ (Osseointegration study club of Japan) 理事

memo